

■特集

教える力を養うための継続研修を(1号)

FDを教育力UPのための継続教育の視点でとらえる：近藤麻理, 1, 6

看護教員養成において足りないものを補うには：新保幸洋, 1, 12

専任教員養成講習会受講後に教育力を高めるために必要な学校管理者の役割：江川万千代, 1, 18

【鼎談】教育力UPのための効果的な継続教育を求めて：杉原多可子／鳥井元純子／佐藤浩章, 1, 24

キャリアを支援する赤十字看護専門学校教員ラダー(2号)

看護教員ラダー導入3年目の成果と今後の課題：小越佐知子, 2, 88

認定を受けた立場から——歩みを振り返り、成長につなげる

レベルⅠ 日々の積み重ねとしてのラダー：岩村直美, 2, 98

レベルⅡ 自分と向き合い、課題を見出していく：藤元由起子, 2, 101

レベルⅢ「創造」としてのラダー認定：箕口ゆう子, 2, 104

レベルⅣ 副学校長としての自信を深める：柳めぐみ, 2, 108

評価をしてきた立場から——仲間たちを認め、自らも学ぶ機会に

レベルⅠ・Ⅱ 評価者として——「評価会」を中心に：満間信江, 2, 112

レベルⅡ・Ⅲ 評価者として——成長につながるポジティブフィードバック：高岸壽美, 2, 116

レベルⅣ 評価者として——質的なリフレクションを導くナラティブ評価：小松智子, 2, 119

学生のセクシュアリティに向き合う(3号)

看護教員はセクシュアリティをどこまで意識しているか：齋藤益子, 3, 170

教育においてセクシュアリティをどう実感すべきか——身体接触の視点から考える：松崎政代, 3, 178

現場に出る前にセクシュアリティの視点の確立を：平田研人, 3, 184

性的マイノリティの存在を意識した看護教育を望む：浅沼智也, 3, 190

医療体制そのものに性の多様性をもたせよう！——意識改革より制度改革を：沼崎一郎, 3, 196

思考にきく発問(4号)

「発問」づくりの大前提——真に思考を促すための、学習者観の問い直し：藤江康彦, 4, 254

実践的思考力を育てる「発問」：池西静江, 4, 262

効果的な発問例について

生活的概念から科学的概念へつなぐ発問：池西静江, 4, 268

グループワークを促進する発問：石東佳子, 4, 271

シミュレーション教育における問答型の発問：阿形奈津

子, 4, 273

経験型実習教育に欠かせない発問の力——オープンリード、リフレクション、Tメッセージ：安酸史子, 4, 276

「楽しい」解剖学を求めて(5号)

教員が解剖学を楽しめなければ、学生が楽しめるわけがない！：藤井徹也, 5, 334

自らが教えるために学んだ経験から解剖学のおもしろさを考える——形態機能学の講義をととして：金子喜代美／水澤晴代, 5, 340

看護技術の研究をととして解剖学の楽しみ方を探る：原好恵, 5, 345

解剖学で「人」を知るのはおもしろい——美術解剖学の魅力：阿久津裕彦, 5, 350

実践知の学びを再考する“わざ言語”(6号)

「わざ言語」という問い：生田久美子, 6, 412

わざ言語が看護教育にもたらすインパクト：前川幸子, 6, 419

臨地で学生と共有される実習指導者の感覚と看護のわざ：原田千鶴, 6, 428

【対談】マイムにたずねるアートの知と伝承：奥野衆英／前川幸子, 6, 434

リフレクションから授業研究(レッスン・スタディ)へ(7号)

リフレクションは授業研究の一部である：吉崎静夫, 7, 496

看護教員が行っている「授業研究」をより効果的にするために：蔵谷範子／末永弥生, 7, 501

授業研究の継続実践のために必要なこと：工藤敦子, 7, 507

小規模な専門学校での授業研究の継続と課題：野黒 愛／表 美幸／玉山浩一郎, 7, 512

授業見学・授業研究会のすすめ——学習指導観・授業観を確立するために：高旗浩志, 7, 518

「読む、書く、話す」で、教育力の充実を(8号)

「話す」能力向上のためにも、「読む」「書く」力の充実を：戸田山和久, 8, 588

専任教員養成講習会における「読む、書く、話す」への取り組み：福岡公香／高口みさき／田口恵美子, 8, 594

教員という立場から、自ら学んだ「読む、書く、話す」を見直す：古都昌子, 8, 600

「読む、書く、話す」を学ぶ機会を得て考えたこと：日下部華苗, 8, 606

「読む、書く、話す」力を身につけ、みがくために：山口みのり, 8, 614

さまざまな場で学んだ「読む、書く、話す(聞く)」を教育現場に活かすために：鈴木由紀子, 8, 620

【第2特集】言葉の力

看護の岸辺で言の葉を想う：小玉香津子, 8, 628

【インタビュー】医療の言葉への危惧と応援——外山滋比古先生に聞く, 8, 634

【インタビュー】同調圧力から逸脱しつつ、生き延びていくための「言葉と勉強」——千葉雅也先生に聞く、8, 640
【対談】気づける身体をつくること——実践のことは化をめぐって：諏訪正樹／大谷則子、8, 648

学生とつくる授業 学生がつくる授業(9号)

学生の「学び方」の意識を切り替える授業——入学時ガイダンスに焦点をあてて：水方智子／大谷弘恵／山之内由美／木村 緑、9, 710
学生が主体的に動くことで、授業はどう変わるのか：甘佐京子／米田照美、9, 716
精神保健における、学生とともにつくる授業——協同学習の取り組みの現状と課題：鈴木啓子／平上久美子／鬼頭和子／新里美智子、9, 723
学生がつくる授業は何をもたらすか——『恋する学問』をとおして：三浦真琴／松田昇子、9, 730

実践的思考力を育む(10号)

【対談】実践的に考える能力の育成に向けて：任和子／阿部幸恵、10, 798
基礎看護学領域からはじめる、学生が自ら考えるための学習支援：伊藤綾子、10, 808
臨床の立場から基礎教育に携わってみてきたこと：明神哲也、10, 816
領域をこえて活用できるシミュレーションシナリオづくり——「ミッションタウン」プロジェクト：藤野ユリ子／山田小織／八尋陽子／椎葉美千代／平川善大、10, 822

ティーチング・ポートフォリオで得られること(11号)

教育の質を問うティーチング・ポートフォリオをあらためて俯瞰する：栗田佳代子、11, 886
【対談】ティーチング・ポートフォリオ・チャートは、教員に何をもちたすか——作成ワークショップに参加して：北浦益代／栗田佳代子、11, 892
大学全体で取り入れるティーチング・ポートフォリオ——看護教員として作成に取り組んで：末次典恵、11, 900
〔コラム〕佐賀大学における TP の取り組みの概要：皆本晃弥、11, 905
看護学科で取り組むティーチング・ポートフォリオ：宗正みゆき／宮林郁子、11, 906
教員の活動全体を可視化し振り返るためのアカデミック・ポートフォリオ：吉田 壘、11, 911
〔コラム〕SAP 作成ワークショップに参加して：三浦友理子、11, 917

省察的実践者を育む ショーンからの提起とともに(12号)

『省察的実践者の教育』を読み解く：柳沢昌一、12, 978
看護教育におけるショーンの提起の重要性：前川幸子、12, 988
ショーンの探究に誘われて 協働探究の試み、12, 994
学生がピンとくるイメージを伝えるわざを磨く：岡本朋子／村田晶子、12, 994
ピアによるディスカッションにおいて、リフレクションを

深めていくこと：室井佳奈／村田晶子、12, 998
教員同士のリフレクションという実践：気づきの連鎖：青野美里／前川幸子、12, 1002
クロスセッションを組織することをとおして得た専門職教員の学びの省察：相山委都子／入江直子／村田晶子、12, 1007

■ 焦点

第106回看護師国家試験を振り返って
判断、思考力を問う問題が格段に増え、実践力の重視とその能力の評価を求める傾向：上間ゆき子、7, 528
第106回看護師国家試験に求められた力と今後の対策：茂野香おる、7, 535

■ 特別記事

活動性を高める授業づくり：LTD 基盤型授業モデルの提案：安永 悟、1, 34
授業におけるジェンダーを考えていますか？——身体を介する授業を例として：松村悠実子、3, 206
古い記事を読み解き、未来へつなぐ——連載「看護教育継往開来！」(4月号より開始)でめざすこと：江藤裕之、3, 212
臨床判断モデルにもとづく学習方略と評価のデザイン：細田泰子、5, 360
教育の改善につながるリフレクションの方法——ティーチング・ポートフォリオとさまざまな派生法：栗田佳代子／吉田 壘、7, 540
ライト・アクティブラーニングのすすめ 「橋本メソッド」を例として：橋本 勝、9, 740
教務主任養成講習会 その意義——慈恵における「教務主任養成講習会」5年の成果と今後の展望：興沼清美／栗原則子／上間ゆき子／高橋則子、9, 748
東日本大震災・福島第一原発事故5年後の災害看護を考える——看護学生による福島県南相馬市での研修をとおして：小坂志保／久田 満、9, 754
看護基礎教育と新人看護職員研修のシームレスな連携に向けて——「看護管理学」教育に関する提案：新実絹代／草間朋子、10, 832

■ 特別寄稿

2年課程通信制学校養成所入学要件改正について——厚生労働省医政局看護課から：大屋麻衣子／佐山理絵、3, 218
「評価力を上げるための目的・評価のつくり方ワークショップ」に参加して得たもの：野崎真奈美、4, 284
保健師・助産師・看護師免許申請時に提出する診断書様式の2017年改訂の解説：栗原房江、8, 658
神奈川県立平塚看護大学における教育課程4年制化の道のり：森内みね子、11, 920
島嶼保健看護の高度実践看護師教育の実際(前編)——カリキュラム概要：神里みどり／川崎道子／宮城恵子、11, 928
島嶼保健看護の高度実践看護師教育の実際(後編)——島で活躍する修了生の活動：神里みどり／新里裕子／下地和枝、12, 1012

■実践報告

基礎看護学教育における対面式教育とe-learningを併用した学習法の提案——学生の主体的な学習を促すための取り組み：秋山直美，2，126

看護学生へのビブリオバトル(闘病記編)の教育効果について：大西安代／森井理恵，12，1018

■Scramble Zone

看護教育の理想を求め、企業と提携した浣腸演習教材「かん助」の開発：久司一葉，1，42

アメリカの基礎看護教育におけるシミュレーション教育——サンフランシスコ大学での母性看護学の実践例から学ぶ：齋藤真希，1，48

フィジカルアセスメントにつながる看護の視点での総合的解剖学実習——基礎医学解剖学講座との連携から：八島妙子／鈴木里美／小倉久美子／篠田かおる／横井達枝／河村 諒／諏訪美栄子，2，132

看護専任教員の教育力の向上のためにできること——東京都立看護専門学校の試み：松原定雄，3，220

地域の社会資源を活用し、健やかな生活を提案するプロジェクト学習：濱田真由美／杉田香苗／道満由紀子，4，290

「協同の精神」を教職員全体に取り入れ「チーム学校」を創る試み：児玉善子，5，368

教育初心者でも授業は改善できる？——「大学教員のためのFD研修会」に参加して学んだこと：山本容子，6，446

障がい学生支援とその実践知のデータベース化の進行——2016年大学コンソーシアム京都 指定調査課題成果報告会に参加して：鮫島輝美，8，664

看護系大学も今後は入試戦略の改革が求められる——『大学入試サミット2017』参加記：廣川空美／張 曉春，8，668

看護教育における成果を学生と教員がよりよく評価するために——『「インタラクティブ・ティーチング」Bigリアルセッション 第2回 ルーブリックを極める』に参加して：猪股久美，11，934

「大阪大学コースデザインワークショップ」に参加して学んだこと——授業において学生と教員に必要なものにあためて気づいた2日間：奥山葉子／坂口豊代，12，1024

■学生なら誰でも知っている 看護コトバのダイバーシティ：木村映里

1. 寄り添い：1，1
2. 傾聴：2，83
3. 個別性：3，165
4. 患者目線：4，249
5. 本人の意思：5，329
6. 安静：6，407
7. 共感：7，491
8. 配慮：8，583
9. 振り返り：9，705
10. 観察：10，793
11. 相互関係：11，881
12. 多様性：12，973

■看護教育 継往開来！：江藤裕之／林 千冬

1. 教養教育の担い手について：4，296
2. 「看護のための」教養？：5，374
3. サービスとしての教育と専門性をもつ教師のあり方：6，460
4. 他領域との交わりと学問の成立：7，554
5. あらためて、大学で看護を教えること：9，762
6. 高知女子大学卒業生たちの自由な本音(!?)を読み解く：10，848
7. 忘れていた、大学化の本質的な議論：11，948

■授業を良くする！ 教育関連理論：西野毅朗

1. ADDIE モデルで授業を見直そう！：10，840
2. 「分析」して授業の前提をつくろう！〈前編〉——3観と6つの構成要素の関係と目標設定の仕方：西野毅朗，11，940
3. 「分析」して授業の前提をつくろう！〈後編〉——学生を知り、教育方法を考える：12，1030

■リズムとからだ 「うまくいく」と「うまくいかない」の謎：伊藤亜紗

1. リズムと障害：4，302
2. 吃音という謎：5，380
3. 声道のモーフィング：6，466
4. 歌の力と「ノる」の秘密：7，558
5. スタイルを借りる：8，680
6. からだの「予測できなさ」と付き合う：9，768
7. からだとの駆け引き：10，854
8. どもりたくてもどもれない：11，952
9. 吃音スイッチ：12，1038

■専門家と市民の架け橋 CoSTEP

1. コミュニケーションについて考え、その実践法を教える：種村 剛，7，553
2. CoSTEPの特色ある講義のしくみ：種村 剛，8，684
3. CoSTEPが実施するサイエンス・カフェ札幌：種村 剛，9，767
4. 現場でスキルの体得をめざす、CoSTEPの「実習」：池田貴子，10，847
5. CoSTEP受講生インタビュー：田中穂乃佳さん——科学技術コミュニケーションの学びを看護に活かす：種村 剛，11，956
6. 3日間でサイエンスイベントをつくりあげる夏の集中演習：古澤輝由，12，1048

■すべて、転んで、立ち上がるために ～看護職生涯発達学から～

1. 看護職生涯発達学が見つめてきた、看護師の逞しさと繊細さ：佐藤紀子，4，308
2. 看護職であるがゆえの死の悼みかたを求めて：小川美咲，5，386／〔研究解説〕看護師の生涯発達への示唆：佐藤紀子，5，390
3. 看護師1人ひとりが、看護そのものに魅力を感じながら働き続けるために：水谷桂子，6，470／〔研究解説〕看護実践のなかの2つの「知」を編み直すこと：佐藤

紀子, 6, 474

4. 「教える」ことも求められているキャリア初期の看護職へ伝えたいこと：門田蓉子, 7, 563 / [研究解説] 看護を实践することと、教えること：佐藤紀子, 7, 568
5. 非日常の手術室で看護を見だしていく新人をみつめて：味木由佳, 8, 685 / [研究解説] それぞれの実存のなかから「見いだされた看護」：佐藤紀子, 8, 690
6. 小児病棟の中堅看護師が仕事を続けてきた原動力：内藤茂幸, 9, 773 / [研究解説] 「小児看護の専門性を超えて」看護師のキャリアを考える：佐藤紀子, 9, 778
7. 私の経験を研究とともに更新し続ける：村上優子, 10, 859 / [研究解説] 「当たり前」ということと「経験の更新」：佐藤紀子, 10, 862
8. 大学病院で働き続けている30代後半看護師のキャリア支援：鈴木真由美, 11, 957 / [研究解説] もてる力を縦横に使った看護実践を：佐藤紀子, 11, 962
9. 子どもをもつ女性看護師の経験を見つめる：三好麻実子, 12, 1042 / [研究解説] 子どもをもつ女性看護師という枠を超えて：佐藤紀子, 12, 1046

■ フィンランドとの交流経験からの今後の日本の看護教育、研究活動への示唆

1. 修士・博士をもつ看護師の臨床における活動と役割：南川美月／大濱悦子, 6, 452
2. 臨地実習への実践的、研究的取り組みの必要性：的場 圭, 7, 548
3. エビデンスに基づく実践者を育てるための看護教育の発展に向けて：山川みやえ, 8, 674

■ 優れた“わざ”をどう伝えるか 技術の「背後にある意味」を教える

1. 優れた“わざ”を伝承するために：阿保順子, 1, 54 / [コラム] 連載を共有するにあたって：川嶋みどり, 1, 58
2. 流れる動き 寝衣交換：阿保順子, 2, 138
3. ふれる——境界線を越える マッサージ：阿保順子, 3, 228
4. 人間の尊厳の最後の砦をどう教えるか 排泄援助：川嶋みどり, 4, 314
5. 技術ではあっても看護技術ではないもの 抑制：阿保順子, 5, 394
6. いつの間にか消えてしまった看護技術 おんぶ：阿保順子, 6, 476
7. 認知症の人たちに学ぶ看護技術 コミュニケーション：阿保順子, 7, 570
8. 看護技術における工夫の意味 授乳：阿保順子, 8, 692
9. その意味と価値から死語にしてはならない 熱布清拭：川嶋みどり, 9, 780
10. リスクを乗り越え定着しているかに見える看護技術 沐浴：阿保順子, 10, 864

■ 「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応

臨地実習における教育上の調整を考える

1. 臨地実習において教員や臨床指導者が抱く困難感：飯岡由紀子, 1, 60
2. 教育上の調整と合理的配慮：飯岡由紀子, 2, 144
3. コミュニケーションが難しい学生への対応：小川純子, 3, 234
4. こだわりが強く、臨機応変な対応やスケジュール管理が苦手な学生への対応：小川純子, 4, 322
5. 遅刻、忘れ物・紛失物が多く、どこことなく落ち着かない学生への対応：遠藤和子, 5, 400
6. 感情起伏が激しく、敵味方の区別が著しい特徴をもつ学生への対応：松岡千代, 6, 484
7. 気分の落ち込みと学習意欲の低下が強く、気分の変動により学習に支障を来している学生への対応：飯岡由紀子, 7, 576
8. 極端に食事が少なかったり、過食と嘔吐を繰り返す学生への対応：松岡千代, 8, 698
9. 学習意欲子どもをもつ女性看護師という枠を超えてや集中力の低下や思考の混乱がある学生への対応：飯岡由紀子, 9, 786
10. 軽度の聴覚障害のある学生への対応：飯岡由紀子, 10, 872
11. 痛みや行動制限がある学生への対応：飯岡由紀子, 11, 965 / [コラム] 困難を抱える学生の学習評価：中島英博, 11, 970
12. 学生の学びを促す対応に向けたFDの考え方と試み：吉本照子／飯岡由紀子／小川純子／松岡千代／遠藤和子, 12, 1050 / [コラム] 障害学とその視点から「配慮が必要な学生」支援を考える：松岡克尚, 12, 1056

■ だから私はこう書いた 系看著者のフィロソフィー

5. 「緩和ケア」——緩和ケアで看護の本質を学ぶ：内布敦子, 1, 66
6. 「小児看護学概論／小児臨床看護総論」「小児臨床看護各論」——「子どもと家族が中心」の看護を伝えたい：奈良間美保, 2, 150
7. 「精神看護学 精神看護の基礎」「同 精神看護の展開」——卒後も看護師を支え続ける、生き延びていくための教科書：武井麻子, 3, 241

■ 東西南北！ 学生募集旅日誌：高塚由香里

7. 長崎で、息子に進学を勧めてくれる卒業生に会う：1, 71
8. 「住み慣れた」街、福岡で親心に接する：2, 163
9. 大阪への日帰り旅で、看護の魅力を伝えにいく！：3, 240
10. 大阪で看護系予備校に通う受験生と出会う：4, 307
11. 旅で出会った学生たちが卒業を迎えて：5, 393
12. 一期一会の出会いとつながりに感謝！：6, 465

■ グループワークの“達人”への道：三浦真琴

7. グループワークの調整 授業回数を重ねてから留意すること：1, 72
8. グループワークを支えるために：2, 156

■考える力を育てるシンキングツールの活用：黒上晴夫

10. 多面的に評価して判断するときのPMI：1, 80

■書評

高山義浩著『地域医療と暮らしのゆくえ 超高齢社会をともに生きる』：〔評者〕波平恵美子, 1, 41

佐藤紀子著『師長の臨床 省察しつつ実践する看護師は師長をめざす』：〔評者〕加納佳代子, 1, 53

郡健二郎著『科研費 採択される3要素 アイデア・業績・見栄え』：〔評者〕山川みやえ, 3, 217

【映評】村上好恵監修・指導『がん看護』全5巻：〔評者〕桑原晴美, 3, 227

井部俊子著『看護のアジェンダ』：〔評者〕丸尾智実, 4, 289

古橋洋子編『はじめて学ぶ看護過程』：〔評者〕中村朝枝, 4, 321

藤井徹也著『看護学生スタートブック』：〔評者〕佐藤紀子, 6, 451

内藤知佐子・伊藤和史著『シミュレーション教育の効果を高めるファシリテーター Skills & Tips』：〔評者〕内海桃絵, 6, 458

舟島なをみ・望月美知代著『看護のための人間発達学 第5版』：〔評者〕佐藤圭子, 6, 489

國分功一郎著『シリーズケアをひらく』『中動態の世界——意志と責任の考古学』：〔評者〕大谷則子, 7, 547

岡田慎一郎著『あらゆる状況に対応できる シンプル身体介護術〔DVD・Web 動画付〕』：〔評者〕山住康恵, 8, 673

吉崎静夫, 蔵谷範子, 末永弥生著『授業が変わる！ 学びが深まる！ 看護教員のための授業研究』：〔評者〕池内里美, 11, 964

中井俊樹シリーズ編集, 中井俊樹／小林忠資編『看護教育実践シリーズ3 授業方法の基礎』：〔評者〕梅澤明美, 12, 1023

糸賀暢子／元田貴子／西岡加名恵著『看護教員のためのパフォーマンス評価 ループリック作成からカリキュラム設計へ』：〔評者〕水戸優子, 12, 1037